

⑩栄養化学研究室 「健康維持のメカニズムと

新しい健康機能を持つ食品の開発をめざす」

所属教員 長澤孝志(教授)、伊藤芳明(准教授)

公開場所 4号館3階308号室

教授 長澤孝志

1. 加齢や疾病による筋肉量の減少(筋萎縮)におけるアミノ酸(BCAA)などの食品成分の抑制効果とその応用
2. 糖尿病合併症の原因となる終末糖化産物(AGE)の蓄積を減少させる食品成分(例えばヤマブドウ)の検索とその作用機構

准教授 伊藤芳明

1. 食品やその成分が持つ抗糖尿病効果や抗肥満効果の作用機序の解析
2. 栄養(タンパク質やアミノ酸)が糖代謝応答に及ぼす影響

学生メンバー(男性:7名、女性:9名)

岩手大学連合大学院(ドクターコース)	…1名
岩手大学大学院(農学研究科マスターコース)	…8名
農学部4年生	…7名

高齢化社会では、健康な生活が重要です。病気を薬で治すだけではなく、毎日食べる食品で健康な体を維持することが大切です。私たちは、健康な体を維持するための食品の役割を、細胞や実験動物を使って解明しています。また、岩手県の食品素材を中心に食品の新しい健康機能性を見つけ、それを地域の産業に役立てます。

公開場所

4号館3階308号室 9:30-15:00

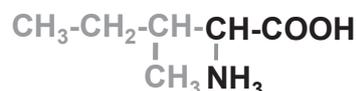
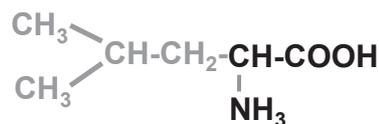
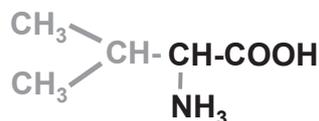
研究内容のパネル展示や培養細胞の観察など



ヤマブドウ



わさび



分岐鎖アミノ酸(BCAA)